

熊本

熊本市長選 両候補アンケート

朝日新聞社は、熊本市長選（18日投開票）に立候補したいいずれも無所属で現職の大西一史氏(50)＝自民、公明推薦＝と新顔の重松孝文氏(71)＝共産推薦＝に、今までの市政への評価や、熊本地震からの復興、公共交通の整備などの課題について、アンケートを実施した。両候補の回答は、以下の表の通り。（左から順に出題。原則として、回答の文言のまま掲載）

	大西 一史氏	重松 孝文氏
①大西市長の1期目の4年間をどのように総括しますか	地域主義の理念のもと、「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現と、熊本地震の発生から今日に至るまで、震災前の暮らしを取り戻すために全力で取り組んできたが、復旧復興は緒についたばかりであり、今後、復興を前向きなものにしなければならない	子ども医療費中3まで無料化を期待していたが対象を広げただけで負担増の年輪も。政令指定市で一番高い国保料を2割も値上げ。熊本地震初期対応も批判の声大きい。被災者への医療費免除を1年半で廃止し、一部損壊にほとんど支援ないことなど冷たい対応が目立つ
②選挙戦で最も訴えたいことは何ですか	震災からの復旧復興を最優先とし、経済復興、市民生活や文化の向上、社会基盤整備などを盛り込んだ「十の決意」を掲げ、その具体的取組である120項目の政策を進めることにより、防災、減災そして備えある「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」を目指す	被災者医療費免除を復活。仮設から追い出しをせず再建を一人残らず支援。一部損壊も支援。高すぎる国保料を引き下げ、子ども医療費中3まで無料。さくらカードの充実。再建市民病院に小児循環器内科存続。高校大学に返済不要ない給付奨学金制度創設
③熊本地震からの復興、被災者支援のためにあなたができることは何ですか	今もなお約6千世帯の方が仮設住宅等で生活をされており、被災者の個々の状況に応じたきめ細かな対応を行い、恒久的な住まいの再建を加速化するとともに、住まいを確保したあとの生活支援、見守りやコミュニティづくりなど、将来への安心を確立する	地震関連死者200人を超えるなど心身への衝撃は想像を絶するので、住まいと生業の再建まで医療費免除を継続したい。防災減災のため家屋・店舗の耐震改修を促進し、地域のコミュニティ強化のため行政の役割をきちんと果たし、公民館等の改修改築を急ぎたい
④相次ぐ職員の不祥事を減らすために必要なことは何ですか	懲戒指針を厳格化するとともに、職員教育、研修を徹底することにより、法令順守はもとより、常に全体の奉仕者として市民の規範となるよう行動するよう職員の徹底した意識改革を図り、不祥事の未然防止と市政の信頼回復に全力で取り組む必要がある	市長のトップダウンが職員のやる気を無くしていることを直視し、市長が職員に対して直接反省の言葉を伝える機会を設ける。市長・幹部職員と職員の双方向の対話と交流で、市長自身が職員ががんばっている現場に足を運んで徹れいすることが重要になっている
⑤高齢化、人口減少とどう向き合いますか	人生百年時代を見据え、生業を通じて健やかに生きがいをもちながら暮らせるよう、市民一人ひとりの状況に応じた保健・医療・福祉サービスを提供するとともに、地域主義に基づく日本一の健康コミュニティ都市「健康で暮らしやすい生活都市くまもと」を目指す	高齢化は喜ばしいことなので、元気ですごすため、さくらカードの拡充、ガン検診無料化などを充実させる。生まれた子どもへの命をひとり残らず守りぬくため市民病院の小児医療を充実させ小児循環器内科を独立して存続させる。子育て教育の充実にも力を傾ける
⑥市内の渋滞解消、公共交通のあり方をどう考えますか	国道57号東バイパスの部分立体化など渋滞解消に取り組むとともに、バス路線網の再編や市電の利便性向上など、地域交通や経済、観光の土台となる交通網を整備し、都市交通を最適化する公共交通と自動車交通のベストミックスの構築が必要である	渋滞は市内での経済と環境に重大な影響を与える。市民とともに「渋滞問題」「地球温暖化対策」を考へ行動する機会を大幅にふやす。実際の行動では「クルマ」から公共交通・自転車・徒歩に移行できる条件を整備する。公共交通空白地域をなくし利便性向上を

被災の神社 再建

大阪の総合建設会社 西原で奉納



「地域の復興・発展が喜び」

2016年4月の熊本地震で全壊した西原村河原の白山神社を、大阪市の総合建設会社「創建」が無償で建て直して奉納し、6日、竣工祭が開かれた。まぶしい白木の社殿に多くの住民が集まり、地域のシンボルだった神社が戻ってきたことを喜び合った。

初詣、子ども相撲、夏越えの祭り……。河原地区の様々な行事の舞台となってきた白山神社は、熊本地震で倒壊した。地区では多くの住宅が損壊した。再建に苦勞する住民が多い中、神社の再建は住民の願いだったものの、建て直すめとは全く立たなかった。そうした中、大阪の建設会社「創建」が神社の再建と奉納を申し出た。

同社の吉村孝文会長は、3年前に札幌市の老朽化した神社を格安で再建し、住民に深く感謝されたことに感動。これを機に、1年に1社、神社を建設して奉納する活動を会社として取り組むことを決めたという。神社関係者から、熊本地震で白山神社が倒壊し、再建がままならない状態にあることを教えられ、今回の奉納を申し出た。

工事は3月から始まり、延べ3000人以上が参加したという。同社は建築費を公表しないとしているが、数千万円とみられる。神社の総代会長の野村茂さん(68)は「地震から暮らしを立て直すのに懸命で、神社の建て直しでよかった。無償と聞いて本当にびっくりした。これからの復興の力になると思う」と話した。

竣工祭に出席した吉村会長は「木軸工法という、日本古来の建築が地震に強いというところを知ってもらえる機会にもなる。神社の再建を機に、地域が復興、発展してくれるのが喜び」と話した。（神崎卓臣）

高校生らへの県育英資金 返還猶予被災なら最長5年

経済的理由で学び続けることが難しく高校生らに学費を無利子で貸す県育英資金をめくり、県教委は災害による返還猶予期間を、現行の災害発生1年以内から最長5年に延長することを決めた。6日の定例教育委員会でも報告した。

育英資金をめぐるのは、熊本地震で被災した利用者の家族に返還を求めた訴訟を、県が初めて起こした。蒲島郁夫知事が先月、返還猶予期間の見直しを県教委に要請していた。

県の規則では被災による猶予期間を1年以内とし、猶予の継続も再申請できる」と定めている。継続要件を決めていなかったため事実上1年以内だった。

1年を超える猶予は市町村が発行する所得証明書などの提出が条件。給付所得者で年間収入300万円以下であることなどが基準で、1年ごとに申請が必要。熊本地震の被災者は最長で2022年3月の返還分までが猶予される。今月中をめどに利用者に知らせる。

八代特産の晩白柚 収穫始まる



晩白柚を収穫する福田誠喜さん＝八代市奈良木町

世界最大級の柑類種といわれる八代地域特産の晩白柚の収穫が6日、始まった。最初はポイラーで温度を上げて生育を進める加温ハウスもので、収穫後に10日はほど熟成させて甘みを増やし、12月1日から主に県内の店頭で販売される。

約30年にわたり晩白柚を作っている八代市奈良木町の福田誠喜さん(63)は「今年は少雨のため果物が生育中にと水分が少なくなり、味が濃くなっておいしい」と話している。JAやつしろによると、晩白柚農家は八代市と氷川町で計85軒あり、計約300本の果樹園で栽培している。加温していないハウスものや露地ものの収穫もやがて本格化し、12月から来年3月中旬まで全国に発送される。（村上伸一）

（遺族の掲載希望額のみ、6日届けまで）

【熊本市】

野田ヒロコ1 東区西原1
松本 昭次郎 同区東町3
宮崎 孝行88 同区月出5
小原 隆徳94 同区月出30度
田代ナツ子1 同区美吉園町
山口 昭夫 同区
井上 昭雄77 北区植木町平井
高橋 良一87 同区植木町辺田野
（八代市）

遠藤 進2 旗原町
廣瀬 文ノ 94 同町
【人吉市】

増田 桐一04 大工町
【荒尾市】

木村 徳子49 川登
山田 和子 旭町2
堅道 逸雄80 同町
上村 チク99 吉野町1
瀧上 政徳88 宝川内
【玉名市】

中尾 茂91 下
野田 厚子87 同町
【宇土市】

武富 實88 鹿野町
金井 右京81 同町
塚本 正太郎48 住吉町
【上天草市】

山田 昭三 野間町二戸
大山 寛子86 松島町同戸
山田 米寿81 鹿ヶ島町高戸
【宇城市】

熊本 照太郎 不知火町
村山 幸三93 三角町同南
田川 義徳74 小川町同南
岡田 勝三84 同町新田出
【阿蘇市】

仁田水ササ子90 一の宮町野地
井野 達也55 山田
【天草市】

佐々木 保44 五和町手野1
尾下由紀子80 天草町大江
【阿蘇郡】

城藤 孝志92 南小国町中原
山崎 幸三93 高森町高森
【上益城郡】

本村ツヨ子93 山形町長田
高橋 次郎78 球磨町木上南
松谷 大和82 球磨町三ヶ浦内

【本渡道路の完成を求める】

熊本市と天草市を結ぶ地域高規格道路「熊本天草幹線道路」の早期完成を求める天草島民集会所が10月27日、天草市東町の天草市民センターであり、市民ら約700人が参加した。

集会所は地元自治体などをつくる熊本天草幹線道路整備推進期成会などの主催。集会所では、天草の上島と下島を結ぶ「第二天草橋戸大橋」（仮称）を含む本渡道路の2022年度完成などを求める決議を全会一致で採択した。

阿蘇市 6日、臨時会を開き、市の全小中学校教員にエアコンを設置するための工事設計委託料計3010万円を追加する一般計補正予算案を可決した。国が今年度の財政支援打ち出したことを受け、年度内にエアコン設置費用をあらためて補正予算に組み込む。対象は、すでに設置されている保健室などを除く8校の181教室。実際に設置するのは来年度になるという。阿蘇市でも今年度は30度を超す真夏日が続き、保護者や議員からエアコン設置を求める声が多かった。

おみやみ 豊後県

自宅に放火容疑 自首の母親逮捕

熊本 熊本

熊本市南区富合町南田尻で4日午後1時15分ごろ、木造2階建て住宅の台所とリビングの一部約30平方メートルに燃える火事があった。熊本南署は5日、「自宅に火をつけた」と長庫集内の警察署に自首してきた住人の無職田上シゲ子容疑者(87)を、現住建物等放火容疑で逮捕し、発表した。

熊本南署によると田上容疑者は4日午後1時10分ごろ、自宅1階に火をつけた疑いがある。

同容疑者は息子夫婦と3人暮らし。火事後、親族を訪ねて兵庫県に行った。「家族でトラブルがあった」と話しているという。

潮	8日・大瀬	水俣港
玉名港	三浦港	水俣港
9.30	9.12	9.09
21.29	21.05	21.01
3.07	2.56	2.52
15.27	15.17	15.13
本渡港	牛深港	八代港
9.12	8.28	9.12
21.06	20.06	21.06
2.53	2.00	2.59
15.15	14.23	15.19